



令和 7 年 9 月号

編集発行人

京都府亀岡市内丸町 15

亀岡市立亀岡小学校

中舎 ゆう子

印刷所 ㈱天 声 社

二学期のスタートにあたって

新学期

学校長 中舎 ゆう子

長い夏休みが終わり、二学期に入りました。最近の夏は特に暑くなっています、これからしばらくも猛暑日が続くのではないかと思います。

さて、二学期には運動会や学びと育ち亀小祭等の行事や今年度は九月に万博へも行く計画となっています。子ども達にとっても心に残るたくさんの方の行事となることでしょう。

随分前になりますが、私の中で心に残っているテレビ広告があります。

+ - × ÷

「+」は、たすけあう

「-」は、ひきうける

「×」は、声をかける

そして、

「÷」は、わけあう

それは、人を笑顔にする算数、おも

いやり算

ほら、やさしいでしょ

というテレビ広告でした。

皆様の中にもご存じの方がいらっしゃるかもしれません、

「人を笑顔にする算数」という言葉

と「ほら、やさしいでしょ」が心に響きました。

小学校の算数では、+ (たす)、- (ひく)、× (かける)、÷ (わる) がまざった計算式を小学校四年生で学習し、その時に「計算のきまり」も学びます。

例えば、「2+1×3」という式は、

「1×3」を先にするというきまりで

す。これは、たし算よりかけ算を先に

しましょうという約束です。でも「お

もいやり算」には、「助け合う」より

「声をかけあう」を先にするという決

まりはありません。どこからやっても

答えにあやまりは出ません。

9月行事予定表

日・曜	学 校 行 事
1:月	短縮4校時(12:00下校)
2:火	給食開始 給食あり4校時(13:10下校)
3:水	1・2年生4校時授業(13:10下校) 3~6年生5校時授業(14:35下校) エコラフティング
4:木	1・2年生4校時授業(13:10下校) エコラフティング(予備日)
5:金	1・2年生4校時授業(13:10下校)
6:土	
7:日	
8:月	校外学習(万博 3・4年生) 児童委員会Ⅳ⑥ 1・2年生4校時授業(13:10下校)
9:火	1・2年生4校時授業(13:10下校)
10:水	全校A5校時(14:35下校) かめのこトーク⑤
11:木	フッ化物洗口(2学期開始) 歯みがき指導
12:金	
13:土	
14:日	敬老の集い(3年生有志)
15:月	敬老の日
16:火	
17:水	全校A5(14:35下校)
18:木	校外学習(万博 5・6年生) フッ化物洗口
19:金	
20:土	
21:日	
22:月	校外学習(万博 1・2年生)
23:火	秋分の日
24:水	色別集会Ⅰ(昼休み~)
25:木	フッ化物洗口
26:金	クラブⅣ⑥ 1・2・3年生5校時授業(14:30下校)
27:土	
28:日	
29:月	運動会プロジェクト委員会⑥
30:火	

+
-
×
÷

い、力をかせる場面は笑顔で引き受け、友だちと声をかけ合い、喜びも悔しさも分かち合う。

日々の生活の中や行事の中でこんな場面に出合う事があると思います。ぜひ、できるところから実践して、おもいやり算のあふれる学校に子ども達と共にしていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、二学期もどうぞよろしくお願いたします。

10月の主な行事

1日	(例) 全校A5校時(14:35)
2日	(例) フッ化物洗口
3日	(例) 陸上交歓記録会Aブロック大会(5・6年)
6日	(例) 運動会プロジェクト委員会5・6年 第2回色別集会(昼休み~)
7日	(例) 運動会予行②③
9日	(例) フッ化物洗口
10日	(例) 1~4年生4校時(13:10下校) 運動会プロジェクト委員会5・6年(14:35下校) 陸上交歓記録会予備日
11日	(出) 運動会
13日	(例) スポーツの日
14日	(例) 運動会代休日
15日	(例) 全校4校時(13:10下校)
16日	(例) フッ化物洗口
17日	(例) PTA文化鑑賞会
20日	(例) クラブⅢ⑥
22日	(例) 全校A5校時(14:35下校)
23日	(例) フッ化物洗口
24日	(例) 亀岡祭前日 全校A4校時(13:10下校)
25日	(出) 亀岡祭
27日	(例) 児童委員会Ⅴ⑥
28日	(例) 亀岡中学校入学説明会
29日	(例) 全校集会Ⅲ①
30日	(例) フッ化物洗口
31日	(例) 4年生社会科見学

一がつきにがんばったことや
できるようになったこと

一年

ひらがながいっぱいかけるようになったよ。「お
おきな かぶ」のおんど
くげきは、おじいさんの
やくをがんばったよ。二
がつきはかんじをいっぱ
いかきたいよ。



一年

一がつきではしるのがはやくなったよ。
ともだちとれえをしたりして、れんしゅ
うをしたよ。二がつきは、くるまのこらっ
くぐらひはやくはしれるようになりたい
な。

一年

一がつきは、けいさんができるようにな
ったよ。ひきさんがはやくなったよ。
二がつきは一がつきよりもけいさんまず
たあになります。

一年

さんすうをがんばったよ。とくに、て
すとのときに、がんばってまちがえない
ようにしたよ。二がつきははやくけいさ
んができるようになったいな。

一年

こくこのペンきょうをがんばったよ。
ひらがながかけるようになったよ。こ
ばもたくさんおぼえて、にっちよくのし
こともがんばったよ。

一年

ぶうるのじゅぎょうをがんばったよ。

さいしよはすこしこわかったけど、かお
をつけて、みずにもぐれるようになった
よ。

一年

たぶれつとをつかいこなせるようになっ
たよ。たぶれつとをつかって、しゃしん
をとったり、ひらがなやさんすうのけい
さんもできるよ。

一年

ずこうのペンきょうをがんばったよ。
ひとのえをかいいたり、だいすきなばとか
あのえもたくさんかいたよ。

.....

一がつきをふりかえって

二年

ぼくは、体いくのプールあそびをがん
ばりました。プールに入る前のシャワー
をがんばりました。シャワーはつめたい
けれど、あついときにあびると、気持ち
がいいです。

二學きががんばりたいことは、うんどう
会です。なぜかというと、体をいっぱい
うごかしたいからです。

二年

ぼくは、体いくのおにあそびをがんば
りました。なぜかというと、はしるのが
すきだからです。

もう一つはプールです。ちよとだけも
ぐれるようになりました。

二學きががんばりたいことは、図ここの
色ぬりをすきまなくがんばりたいです。

二年

わたしは、テストをがんばりました。な

ぜかという、テストで百点をとりたかつ
たからです。

二學きにがんばりたいことは、図こ
うです。どうしてかというと、絵のぐをつ
かって絵をきれいにかけたいからです。

二年

わたしはこくごをがんばりました。と
くにがんばったことは、テストで100
点をがんばってとることです。

二がつきにがんばりたいことはうんどう
会です。りゆうは、今年もりゆうしょう
してたのしいおもいでがほしいからです。

二年

わたしは、きゆうしよくとうばんをが
んばりました。どうしてかというと、きゅ
うしよくをはこんだり、いれたりするか
らです。

二がつきにがんばりたいことはかけ算
をがんばりたいです。どうしてかとい
うと、たくさん九九をおぼえたいからです。

二年

わたしはプールをがんばりました。り
ゆうは、かおをつけるのをがんばったか
らです。

二がつきにがんばりたいことは、かけ
算です。りゆうは、むずかしそうだから
です。

.....

三年かめ小たんていだん
丹波亀山城あとをさがせ！

三年

ぼくは亀山城あとの見学に行つて、石
がきをみたときどうやってあの量の石を

昔の人は運んできてどのようにして組み
立てていったのがとても気になりました。

三年

亀山城あとの見学に行つて外ばりや内
ばり、大名のこくいんが本場にそのま
まのこつていたのすごいなと思いました。
見学に行つてまた「はてな」がいっぱ
い見つかりました。

三年

わたしは、亀山城あとに行きました。
あけちみつひでさんが生きていた時代に
使われていた井戸やそのときの石がのこつ
ているのがすごいと思いました。それに、
亀山城がつくられた当時に植えたイチヨ
ウの木がのこっているのがすごいと思
いました。

三年

亀山城の石がきに、本当に、□や田が
書かれた石があつて、見つけられてうれ
しかったです。南郷公園にあるどうぞう
が、あけちみつひでさん
だとは知らなかったです。
かめもいっぱいいて見つけ
られてとてもうれしかつ
たです。



.....

四年生では、人権旬間に友だちの
いいところを目を向ける活動を行い、
自分が思ったことをメッセージにし
ました。

四年

この人になりたい！こんな人になりた
い！と思わなくていい。みんなちがう。

みんなちがつて、それでいい！

四年

相手の心 それに気づけたら 本当の
友だち

四年

ありがとう てがみもらって うれしい
な

四年

ともだちの いいところみつけ たのし
いな

一学期の目標

五年

わたしの二学期の目標は、何事にも全
力でやる事です。なぜかと言うと、みん
なで居れるのは一年だけだと坂尾先生も
言っていたけど、みんなでいろんな事を
して、いろんな思い出を作りたいし、こ
の一学期いろんな楽しいことをしてすこ
く楽しいしうれしかったです。もつとみ
んなといろんなことをしたいなあと思
いました。そして思い出を作りたいから何
事にも全力で今を楽しもうと思ったから
です。

二つ目は自分から行動していくことで
す。なぜかと言うと、はいぜんだいにこ
飯が落ちていたりしたら、いつも同じ人
が、やってくれているから自分から率先
して動いていこうと思つたしみんなから
頼りにされたいし、もつとみんなと仲良
くなつて楽しいことをもつとして先もいっ
たけど、思い出作りをみんなとしたいか
ら自分から行動してみんなから信頼され
る人になりたいです。

五年

僕の二学期の目標は二つあります。一
つ目は行事についてです。一学期には、
水泳、一年生との遊び、そして野外学習
という五年生の大イベントが終わりまし
た。まだみんなでお楽しみ会が残ってい
ますが、他の行事は終わってしまったの
で、二学期には二学期の行事がありま
す。例えば運動会という学校全体の大イ
ベントです。こんな行事切り替えながら
楽しんでいくように心がけていきたいと
思います。二つ目は、委員会です。二学
期では、新しい仕事が始まります。二学
年として委員会に役立ち毎日が楽しく
なるような亀岡小学校にしていきたいと
思います。高学年ということを感じて
います。

五年

わたしの二学期の目標は、二つありま
す。

一つ目は、学習する時はする、遊ぶ時
は遊ぶ、このような「メリハリ」をつけ
たいです。なぜなら、最近の自分はメリ
ハリをつけていないと思つたからです。
授業の時は、あまり関わりのない人とで
も、自分から積極的に声をかけたりして、
その関わりのない人と少しも前よりか
は、関わりのあるようにしたいです。で
も、中間休み、昼休みの時間は、仲の良
い友達と話したり、喋ったりしてしっか
りと「メリハリ」をつけられるように頑
張りたいです。

二つ目は、何事にも全力でやることで
す。なぜなら、何事も全力でやるとみん
なからも頼りにされるし、全力でやって
いる人、なんとなくやっている人で差が
出るからです。例えば、配ぜんだいの後

片付けや、体育の最初の準備、暑くても
授業に全力で集中できること。まだ自分
ができていないこともあるので、それを
全力でやっていきたいです。でも自分が
できていることもあるので、それを続け
て、いきたいです。

このような二つの、「メリハリをしっか
りする！」「何事にも全力でやる！」を
しっかりと二学期の目標にしたいです。
他にも二学期を過ごしていくにつれて、
課題はできていくと思うのでまたその課
題を見つけたら、また目標にしたいです。

五年

僕の二学期の目標は、三つあります。
一つ目は、何でもやってみる事です。

理由は、なんでもやってみることで、
やってみないとわからないことがたくさんあるか
らです。やらないうままでは自分かど
うやればいいのかもわからないからです。
二つ目は、誰でも喋れるようにする
ことです。理由は、僕は自分に自信がな
くて喋る勇気がないから二学期は、一学
期より多くの人と話せるようにします。

三つ目は、友達が困っているときや、
元気がないときに声をかけてあげること
です。理由は、友達が困っている時に助
けてあげると友達も元気が出ると思つた
からです。

五年

二学期の目標は三つあります。一つ目
は、誰でも安心できるいいチームを作る
ことです。もし、「誰々さん嫌い」など
嫌な気持ちを出してしまうと、それ
を聞いた人が「このクラスいやや」つて
なって全然安心できないクラスになつて
しまうからです。なので、これからは、
「大丈夫だよ」や、「頑張ったね」などの

暖かい言葉を使うことを大切にしたいで
す。

二つ目は、声掛けを一回で聞いて切り
替えることです。理由は、たまに声かけ
をしているのに全然聞いてくれない時が
あって、それを見て四、五人ぐらいの人
が大きい声で注意して逆にうるさくなる
時があるからです。誰かが大きな声で一
回言ったらそれをちゃんと聞けるよう
になりたいです。

三つ目は、誰でも手伝ってあげること
です。図工とかの時にちよつと間に合っ
てない人がいたら一緒に片付けたいで
す。まず自分の班や近くの人を手伝っ
てあげるようにするようにします。

私はクラス全員で「全力五年二組 笑
顔あふれる明るいクラスへ」という大
きな目標を決めたから
全力でたくさんこの
とに取り組んで笑顔
溢れるクラスにする
ためにみんなと協力
していいクラスを
作っていききたいです。

五年

僕の二学期の目標は、だれにでも優し
く接することです。

なぜかと言うと、全員と仲良くするこ
とは、難しいかもしれないけれど、優し
く接することは、きつと誰でもできるし、
優しく接することで、みんなプラスの気
持ちになると思つたからです。

そしてそのために大事なことは、人
によって態度を変えないことです。

なぜかと言うと仲のいい人だけに態
度をとってあんまり仲良くない人だけに
良くない態度を取るの、とても不公平
だしイヤな気持ちになるからです。



一学期をふり返って

六年

この一学期は、とても成長した四ヶ月だったと思います。四月の頃は緊張していたし、どんなクラスになるかソワソワしていました。でも、この四ヶ月で価値語を学んだり、クラスの良い所、悪い所をみんなで見つめて成長につなげたりして、笑顔がどんどん増えたと思います。ポジティブアクションや揃える意識、挙手の増加、下級生への思いやりなど、六年一組がまとまって行動したこと、団結力が成長したと思います。朝遅れてきたクラスの仲間が教室に入ってきた時にスルーするのではなく「おはよう！」と声をかけたり、下校集会で他のクラスの仲間に「大丈夫です！」と返事をしたり、何気ないところでも四月にはなかった光景が増えてきました。

また、自分の成長したこともたくさんあります。まず一つ目が「あいさつ」です。五年生の時の私はあいさつをあまり心がけずに学校生活をおくっていました。ですが、六年生になってから意識が変わりました。あいさつ運動で、「おはようございます。」と言った時に相手からリアクションがないと悲しくなりまし。この時、あいさつをすることの大切さを実感しました。

二つ目は「挙手」です。六年一組で挙手の成長を感じている人はたくさんいると思いますが、この一学期、クラスの仲間のたくさんさんの挑戦を近くで見ました。チャレンジをするその一歩は大きな一歩で、私も刺激をもらい挙手への挑戦が増えました。今で



は当たり前のように手を挙げられるようになってきました。

このように私は六年一組の一員になってこの四ヶ月でたくさん成長しました。まだまだ成長できる所はたくさんあると思うので、二学期も成長を継続していきたいです。

六年

私はこの一学期、とても成長した期間だったなと感じます。まず一つ目は「挙手」です。一学期の初めは、自分の考えに自信が持てなくて答えがあるものしか手を挙げられませんでした。けれど、人権旬間をきっかけに挙手をする回数が増えてきました。人権旬間が始まるまでは、朝の会や終わりの会など、自分の考えを伝えるときは一度も挙手をしていなかったけど、人権旬間が始まってからは、自分の考えに自信をもてるようになり、クラスの時だけでなく、学年でする下校集会のときにもしっかりと挙手をできるようにになり、それが当たり前になって今でも続けられています。クラスでも、人権旬間をきっかけに手を挙げられるようになった人もいて、クラスのあたたかい雰囲気や発表でいてくれる人がほとんどです。そして、授業中はたくさんの方が手を挙げているので、とても良い雰囲気だと感じます。

二つ目は、「当たり前前」のことを当たり前にする「こと」です。ベル着・ベル準やあいさつ、くつをそろえるなど、当たり前前（前）のことを当たり前にする力がクラス全体につながっていると思います。あいさつでは、時々学年で朝、あいさつ運動があつて、みんなに大きな声であいさつをすることができました。そこでつけた力は、クラスで活かされていて、朝教室に来た時に

みんな大きな声であいさつができるようになりました。

このように、この一学期で自分や学年、クラスがとても成長したと思いましたが、二学期は成長したところを落とさずにもっと伸ばしていけたらいいなと思いました。

自立活動と生活単元学習のこと

さくら学級 横井 土紀子

さくら学級には「自立活動」と「生活単元学習」という特別な学習があります。少し紹介します。

まず「自立活動」（子どもたちは「さわやかタイム」と言います。）では、「自分でできた」という体験を積み重ねることを大切にしています。その経験が、自己肯定感を高め「相手の気持ちを想像する力」や「新しいことにチャレンジする意欲」につながっていきます。

その中で、さくら学級では、「自分も人もお互いに認め合えること」を大切に、毎週一時間活動しています。友達と一緒に体を動かすことによって「ルールを守る」「気持ちよくコントローする」「自己表現」と「相手の気持ちを想像する」といった力を育てています。ある日の活動で、ボールを当てられたのに外野に出ない男の子がいました。そこで「外野だよ。」と伝えたところ、彼は黙ってしまい、しばらく何もせずにそこに立っていました。私は、当たったことが受け入れられないのか、と思ったいました。しかし彼は、その後「先生、さっきのボールは、同じチームの人が投げたボール。〇〇君が間違って、相手チームに入っていたのをぼくがとろうとしたの。」と説明して

くれました。私は勘違いしていたことを謝り「言ってくれてありがとう。」と伝えました。このやりとりを通して、自分の状況を自分から伝える力や自分が困ったときに自分の思いを伝える力が少しずつ育ってきていると感じ、嬉しく思いました。自立活動は、自分の行動を振り返ったり、自分の気持ちを伝えたり、相手の立場を想像したりする力を育てる大切な時間だと改めて感じました。

次に「生活単元学習」は、教科を合わせた指導です。テーマに沿って、自立や主体的な生活の実現に向けて、また実社会での学習論を学校における教育活動として展開しています。具体的には、校区の大本花明山植物園やみずのき美術館の方々の協力を得て、自然をテーマに学習活動を行っています。昨年度は、アーティストさんと一緒に、校内や大本花明山植物園で木々の枝や葉を「ひろって、かくものをつくって」、「えがこう」という活動に取り組みました。自分たちの作った筆や絵が美術館や校内で飾られ、たくさんの人たちに観て頂きました。自分の表現したものが賞賛される経験は、子どもたちにとって自信になりました。自信は自己肯定感につながります。「自立」を最終のゴールと捉え、子どもたちにつけたい力は何だろうと考えたとき「自分で選び、自分で決め、自分で表現する力」ではないだろうか私たちは考えます。

ある男の子が「楽しかった！毎日、さわやか（自立活動）やりたい！」と教室に帰ってきたことがあります。そんな子どもたちの声に後押しされながら、今年度も充実した活動を共につくっていきます。